

スチレン系材料の資源循環システム「D-NODE」ブランド立ち上げについて  
～資源循環によるサーキュラーエコノミーの実現に向けて～



デンカ株式会社（本社：東京都中央区、社長：石田 郁雄）及び、デンカポリマー株式会社（本社：東京都江東区、社長：高橋 朋道）は、持続可能な社会の実現を目指し、グループ独自の資源循環システムブランド「D-NODE（ディーノード）」を立ち上げました。「D-NODE」は、使用済みポリスチレン製品やバイオマス原料を活用し、スチレン系材料の再資源化と再製品化を推進するブランドです。

デンカグループは、原料から最終製品までの一貫した製造・販売体制を持つスチレンチェーンを基盤に、2024年3月よりデンカ千葉工場（千葉県市原市）でポリスチレンケミカルリサイクルプラントの稼働を開始しました。同年7月からは千葉県市原市との事業連携協定のもと、使用済みポリスチレン製品の拠点回収を実施しています。

「D-NODE」を通じて、自治体や他社との連携や最新のリサイクル技術により、持続可能な社会の構築に貢献するとともに、ケミカルリサイクルやマテリアルリサイクルを含む適切なリサイクル方法を駆使し、高品質なリサイクルプラスチック製品を提供してまいります。

デンカグループは、経営計画「Mission 2030」の中で、スチレン系材料のサーキュラーエコノミー推進に取り組むべき施策の一つと位置付けています。2050年のカーボンニュートラル実現を見据え、安全・安心・快適な日々の暮らしの実現に貢献するサステナブル製品の展開を推進し、環境負荷低減に対する社会やお客様のニーズに応えるとともに、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを一層強化してまいります。

デンカはこれからも「化学の力で世界をよりよくするスペシャリストになる」というパーパスのもと、世界に誇れる化学で、人々の暮らしと社会に貢献し続けます。

## ■D-NODEについて

### サーキュラーエコノミーを実現する独自の資源循環システム

「D-NODE」は、デンカグループ独自の資源循環システムの総合ブランドです。

“スチレンチェーンと適切なりサイクル方法による独自の資源循環システムがより大きなサーキュラーエコノミーを生み出していく。”をコンセプトに、「D-NODE」が、様々な取り組みとつながることで、循環の輪を広げ、サステナブルで豊かな人々の暮らしと社会に貢献していきます。

## ■ブランド名「D-NODE」とロゴについて

ブランド名には、「結び目、接点」を意味する英単語「NODE」を用いました。スチレン系材料の複数の循環の結び目(NODE)にデンカグループがなるという思いを込めています。「D-NODE」を通じて顧客と当社がつながりスチレンが循環していく、様々な接点がネットワークのように広がっていくことを目指していきます。

ブランドロゴは「D」と「NODE」をつなぐ「-」で電源アイコンをイメージして制作しました。これから始まる未来に向けてデンカグループが電源ボタンのような役割になることを表現しています。

#### 【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 電話：03-5290-5511

#### 【お客様からのお問い合わせ先】

ポリマーソリューション部門 事業推進部 電話：03-5290-5565